



ローリング・ワイン・カンパニー(カリフォルニア) Loring Wine Company

LORING WINE COMPANY

全米年間No. 1 ピノ・ノワール生産者の栄誉を2度も獲得！

※ピノ・マニアのバイブル「PINOT REPORT誌」で2004年、2006年に選出。

2000年代初め、彗星の如く現れたカリフォルニア・ピノノワール生産者。



ブライアン・ローリングは初期のカリフォルニア・ブティック・ワイナリーのピノ・ノワール生産者の一人であり、全く未知の分野に飛び込んだ開拓者だった。(彼は元ソフトウェア・エンジニア)

大学時代、ハリウッドのワインショップで働いていたブライアンはショップの経営者の一人が熱狂的なブルゴーニュ・ファンだったことから、ブライアン初のブルゴーニュ・ワイン体験は、デュジャック、アンリ・ジャイエ、DRCといった錚々たる造り手のワインの洗礼を受けた。

彼の運命を変えた、カレラとノーマン・ベコとの出会い！

1980年代のアメリカでのピノ・ブームは彼にとっては満足の行くものではなかった。カレラとの出会いがきっかけとなり他のカリフォルニア・ピノの魅力に気づいた彼は“ウィリアムズ・セリエム”“シャローン”“サンフォード”といったワインに親しんでいったのだった。

やがて“コットンウッド・キャニオン・ワイナリー”のワインメーカー、ノーマン・ベコと親交を結んだブライアンは、ワイン・ビジネスの道に足を踏み入れる。1997年ヴァンテージの仕込みを手伝った彼は自身のピノ・ノワール2樽を醸造する経験を得、いよいよ“ローリング・ワイン・カンパニー”が産声をあげることとなった。ノーマンにワインの醸造について1万もの質問を浴びせかけたブライアンは、完全にワイン造りにのめり込んでいく。

そして自身のワイナリーにLoring Wine Companyと名付けた。

実はワイン・カンパニーの部分は、“カレラ・ワイン・カンパニー”のオーナー、ジョシュ・ジェンセンへのオマージュなのである。彼はカリフォルニアでも素晴らしいピノ・ノワールを造ることが出来るということを教えてくれた人物なのだ。

品質へのこだわり～シングル・ヴァンヤード・ピノ・ノワール

米国各地の名ブドウ畑から一流のピノ・ノワールを買い付ける”という一貫した姿勢

秋にリリースされる単一ブドウ畑名ピノ・ノワールは、北部のブドウ園のブドウを原料としている。

グラハム・ファミリー (Graham Family)、キーファー・ランチ (Keefer Ranch)、デュレル (Durell)、ロゼラズ (Rosella's)、ゲイリーズ (Gary's)。

一方、春にリリースされる単一ブドウ畑名ピノ・ノワールは、南部のブドウ園のブドウを原料としている。

ラッセル (Russell)、オーバイン (Aubaine)、クロ・ペペ (Clos Pepe)、カーガサキ (Cargasacchi)



コード	商品名 ヴィニフィケーション	色	VT	地域/AVA JAN	容量 (ml)	参考上代
-----	-------------------	---	----	---------------	------------	------



Loring Wine Company
ローリング・ワイン・カンパニー(カリフォルニア)

ローリング・シャルドネ・シエラ・マール・ヴィンヤード Loring Chardonnay Sierra Mar Vineyard	白	2015	モンレー/サンタルシア・ハイランズ AVA 0896641002202	750	¥6,200
---	---	------	--	-----	--------

シエラ・マール・ヴィンヤードはモンレーのサンタルシア・ハイランズの南部に位置し、所有者はゲイリー・フランシオーニ。彼はロゼラ・マール・ヴィンヤードも所有、またゲイリー・ピゾーニとゲイリース・ヴィンヤードを共有している。

クローン:ロバート・ヤング(ウェンテ・セレクション)

樽熟成:ワインの50%をフレンチオーク樽(新樽20%)で、残りをアメリカンオーク樽(新樽20%)で10ヶ月/生産量:100ケース

評価:

●ワイン・エンシュージアスト(マット・カットマン氏評価) 93点 & エディターズ・チョイス

スイカズラの甘い香り、ホイップしたバター、洋ナシのコンポートやピーチパイ、海塩、砕いた岩のニュアンスが複雑に入り混じるアロマ。リッチで多層的、ピリッとした活気あふれるワイン。濃厚な甘さの完熟リンゴと海塩、粘板岩の風味が混然一体となった味わいは太平洋性気候の影響を多分に感じさせる。口の中でゆっくりと広がる酸味とともに、トースト、バニラ、クローヴの風味が展開する。

●ワイン・アドヴォケイト(ジェブ・ダナック氏評価) 90-93点

ミディアムボディの、ピュアでエレガントなシャルドネ。シトラスや完熟リンゴの溢れんばかりの風味と、グリーン・ハーブやクリーム・コーンの風味が織り交ぜられている。ピュアでなめらか、バランスに優れた、心行くまで楽しめる本格派のシャルドネ。



ローリング・ピノ・ノワール・ゲイリース・ヴィンヤード Loring Pinot Noir Garys' Vineyard	赤	2015	モンレー/サンタルシア・ハイランズ AVA 0896641002059	750	¥8,800
---	---	------	--	-----	--------

※2015年のサンタルシア・ハイランズAVA ピノ・ノワールについて

どこでも豊作だったグッド・ヴィンテージにも拘らず、ゲイリース・ヴィンヤードから通年通りの量のピノを確保できなかった。従って、サンタルシア・ハイランズのピノは今年品不足である。ゲイリー・フランシオーニとゲイリー・ピゾーニは、ブドウ園の一部を移植する必要があると判断し、全ての人の割り当て面積が削減された。流通に十分な量が手に入らなかったため、サンタルシア・ハイランズ産のピノを手に入れる唯一のチャンスは、当社からの直接購入である。

クローン:ピゾーニ・クローン/樽熟成:フレンチオーク樽(新樽15%)10ヶ月/生産量:150ケース

評価:

●ワイン・エンシュージアスト 93点

●カリフォルニア・グレープヴァイン 92点

活気に満ち早熟で芳香に満ち複雑。ラズベリーやブラック・チェリーのアロマにベーキング・スパイス(シナモン、アニス、クローブ、カルダモンなど)やモカ、森の下草の香り。奥深く濃厚な味わいで肉付きが良く、チェリーやレッド・ベリーやコーラを思わせる風味、軽快な酸味があり、口当たりはベルベットのよう滑らか。程よいタンニン、長く尾を引く余韻。早熟で今すぐに充分楽しめるが、数年の瓶内熟成により更に複雑味と風味が増すだろう。非常にお奨めの一本。

●プリンス・オブ・ピノ(ピノ・ファイル)90点

程よい濃さの赤紫色。ブルーベリー、ブラック・ラズベリーのアロマにナッツィなオーク香が漂う。ブラック・チェリー、ブルーベリー、ブラック・ラズベリーの豊かな果実味が楽しめるミディアムボディで後味もゴージャス。オーク樽の風味とタンニンが見事に融けあい、後味はスパイシーなチェリーの美味しさにあふれ、豊かな余韻を残す。



ローリング・ピノ・ノワール・ロゼラス・ヴィンヤード Loring Pinot Noir Rosella's Vineyard	赤	2015	モンレー/サンタルシア・ハイランズ AVA 0896641002042	750	¥8,800
---	---	------	--	-----	--------

ロゼラス・ヴィンヤードはモンレーのサンタルシア・ハイランズの北部に位置し、所有者はゲイリー・フランシオーニ。彼はシエラ・マール・ヴィンヤードも所有、またゲイリー・ピゾーニとゲイリース・ヴィンヤードを共有している。ブドウ園の名前は彼の妻ロゼラから取られている。

クローン:667、828、ピゾーニ・クローン/樽熟成:フレンチオーク樽(新樽15%)10ヶ月/生産量:400ケース

評価:

●ワイン・エンシュージアスト 92点

●ワイン・アドヴォケイト(ジェブ・ダナック氏評価) 90-93点

このワイナリーが産み出す素晴らしいワインの一つ。スパイス、ドライ・フラワー、ブラック・ラズベリー、ポプリのアロマに満ちた、エレガントでピュア、チャーミングなピノ・ノワール。2014年ヴィンテージよりも酸味が穏やかなミディアムボディ。スパイシーな風味に満ちたミディアムボディで、口当たりもなめらか、完璧なバランスとレッド・プラムの塊のような風味、スパイス、潰したベリー、フローラルな個性。極め付けのピノ・ノワールで、10年以上の長期熟成が可能。

●カリフォルニア・グレープヴァイン 92点

活気に満ち濃厚で奥深く、土の香り、ラズベリー、チェリーのアロマとコーラや森の下草のニュアンスがある。味わいはリッチで肉付きが良く、チェリーやレッド・ベリーの風味と深みのあるしっかりとした酸味、そして豪華な印象がある。程よいタンニン、長く尾を引く余韻。早熟で豊かな果実味にあふれ今すぐに充分楽しめるが、数年の熟成を重ねると頂点に至るだろう。非常にお奨めの一本。

●スティーブ・ハイモフ氏(ワイン・エンシュージアストの元西海岸担当者評価)94点



ローリング・ピノ・ノワール・クロ・ペペ・ヴィンヤード Loring Pinot Noir Clos Pepe Vineyard	赤	2015	サンタバーバラ/サンタリタ・ヒルズ AVA 0896641002110	750	¥8,800
--	---	------	--	-----	--------

クロ・ペペ・ヴィンヤードはサンタリタ・ヒルズの北部の谷にある。砂地土壌で、非常に濃厚でしっかりとした味わいのブドウになり、ホワイト・ペッパーやベーキング・スパイス(シナモン、アニス、クローブ、カルダモンなど)の風味を持つ。

クローン:115、777/樽熟成:フレンチオーク樽(新樽15%)10ヶ月/生産量:150ケース

評価:

●ワイン・アドヴォケイト(ジェブ・ダナック氏評価) 92-94点

サンタリタ・ヒルズの典型的なワイン。スパイシーな風味に満ちたミディアムボディで、口当たりもなめらか、完璧なバランスとレッド・プラムの塊のような風味、スパイス、潰したベリー、フローラルな個性。極め付けのピノ・ノワールで、10年以上の長期熟成が可能。

●プリンス・オブ・ピノ(ピノ・ファイル)92点

ブラック・チェリーと挽きたてのスパイス、ポプリ、そしてナッツィなオークの香りが、核となる果実味とそれを縁取る樽香への道案内を務めている。ベルベットのようななめらかさは極めて魅力的で、バランスの良さは天下一品。今すぐに楽しめるが、長い熟成も可能。

●スティーブ・ハイモフ氏(ワイン・エンシュージアストの元西海岸担当者評価)94点

●ワイン・エンシュージアスト(マット・カットマン氏評価) 88点

